

確定拠出年金 3万6000人調査

追加分析資料2:分散投資の状況

浦田経営金融ラボ合同会社
一般社団法人 確定拠出年金・調査広報研究所

2025年10月

分散投資の状況

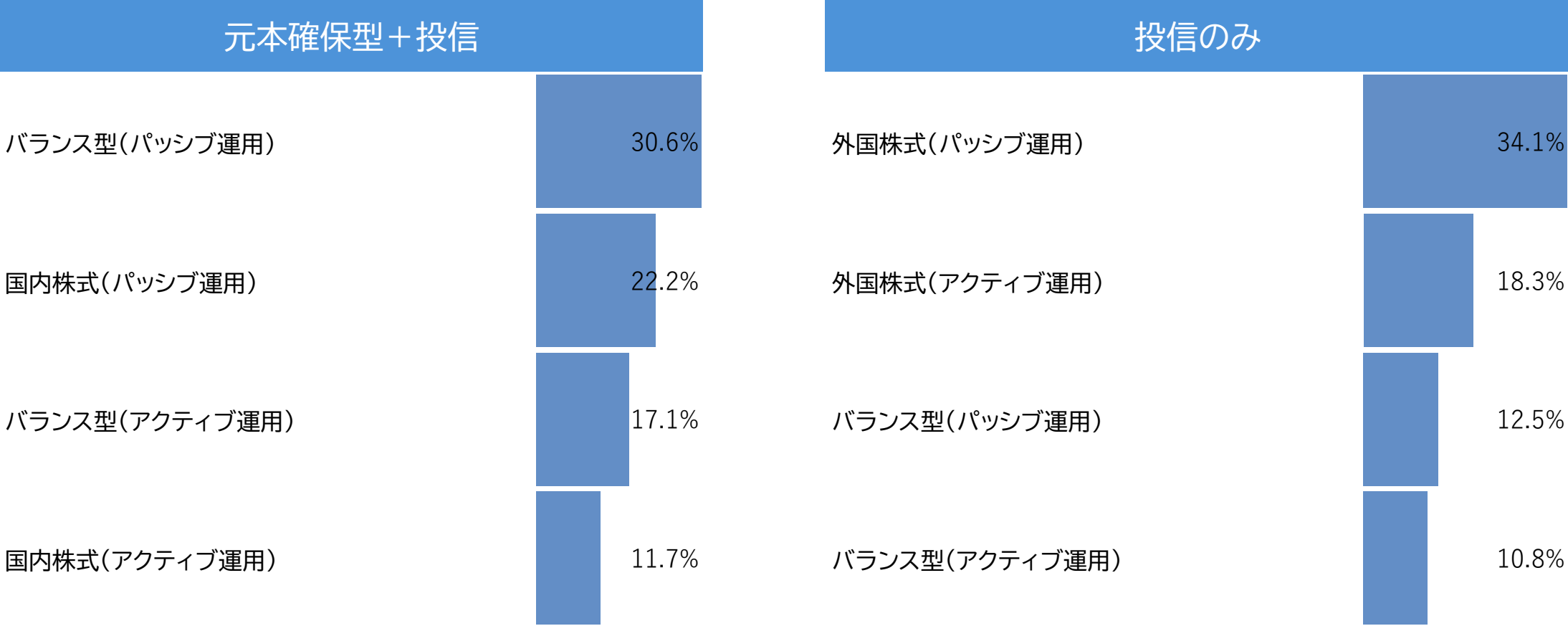
加入者が選択している投資信託の種類数

分散投資の状況を見るために、加入者が選択している投資信託の種類数(ex.国内株式パッシブ、海外債券アクティブといった種類)による分析を行った。選択数の分布は以下のとおり。「元本確保型＋投信」で運用している人と比べ、「投信のみ」で運用している人は、1本のみ選択している人の比率が高い。次頁以降で具体的な資産クラスを見るが、分散投資しているつもりでも、かえって集中投資に陥っている懸念がある組み合わせが散見される。

選択している 投資信託の数	元本確保型＋投信で 運用している人		投信のみで 運用している人		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1	333	36.0%	558	46.6%	891	42.0%
2	264	28.5%	304	25.4%	568	26.8%
3	121	13.1%	141	11.8%	262	12.3%
4	117	12.6%	120	10.0%	237	11.2%
5	34	3.7%	40	3.3%	74	3.5%
6	30	3.2%	23	1.9%	53	2.5%
7	6	0.6%	1	0.1%	7	0.3%
8	10	1.1%	8	0.7%	18	0.8%
9	2	0.2%		0.0%	2	0.1%
10	3	0.3%		0.0%	3	0.1%
計	925	100.0%	1198	100.0%	2123	100.0%

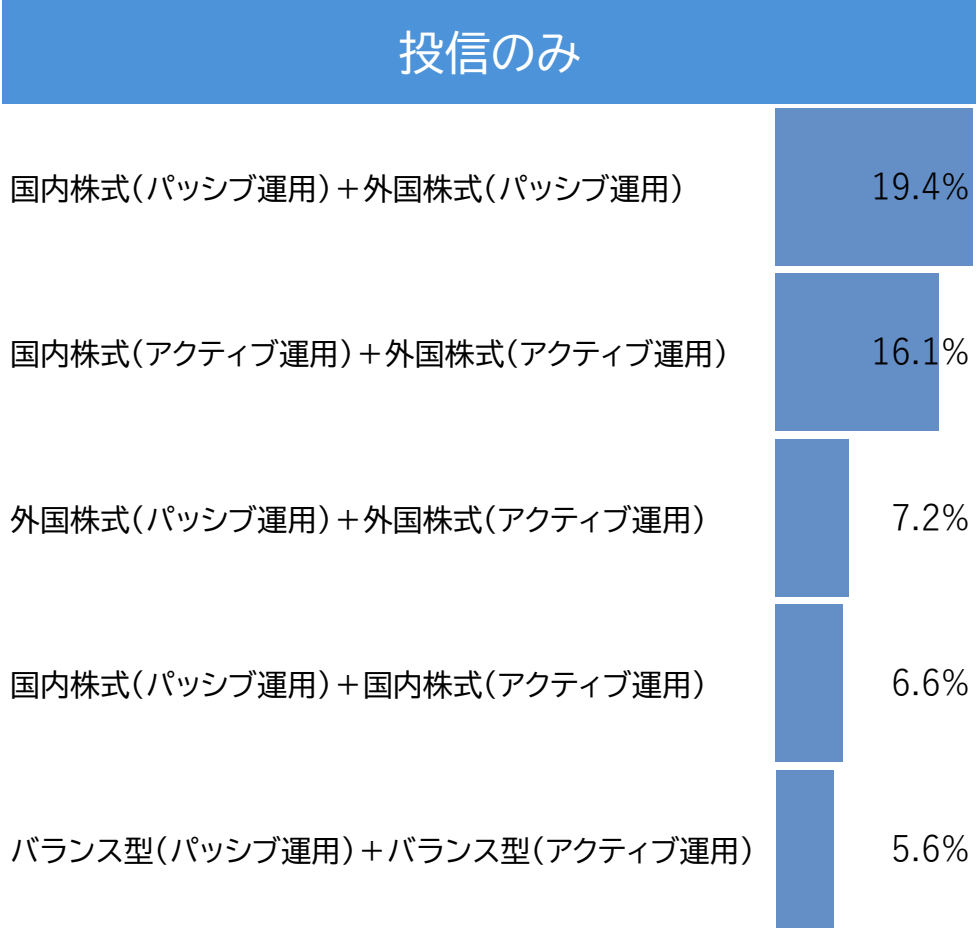
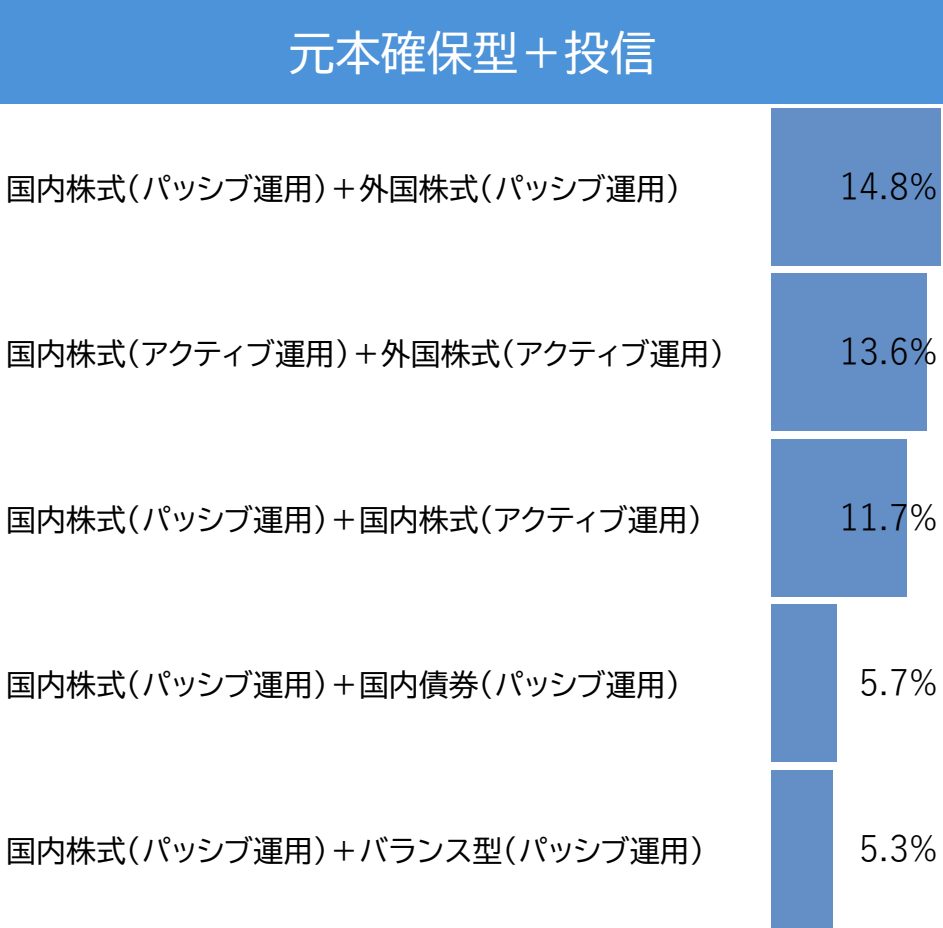
分散投資の状況：投信を1種類だけ選択している人の投資先上位4組

「元本確保型＋投信で運用」「投信のみで運用」とともに、バランス型だけを選択している人が多い。単体の資産クラスでは「元本確保型＋投信で運用」は国内株式、「投信のみで運用」は外国株式に集中投資している人が多い。



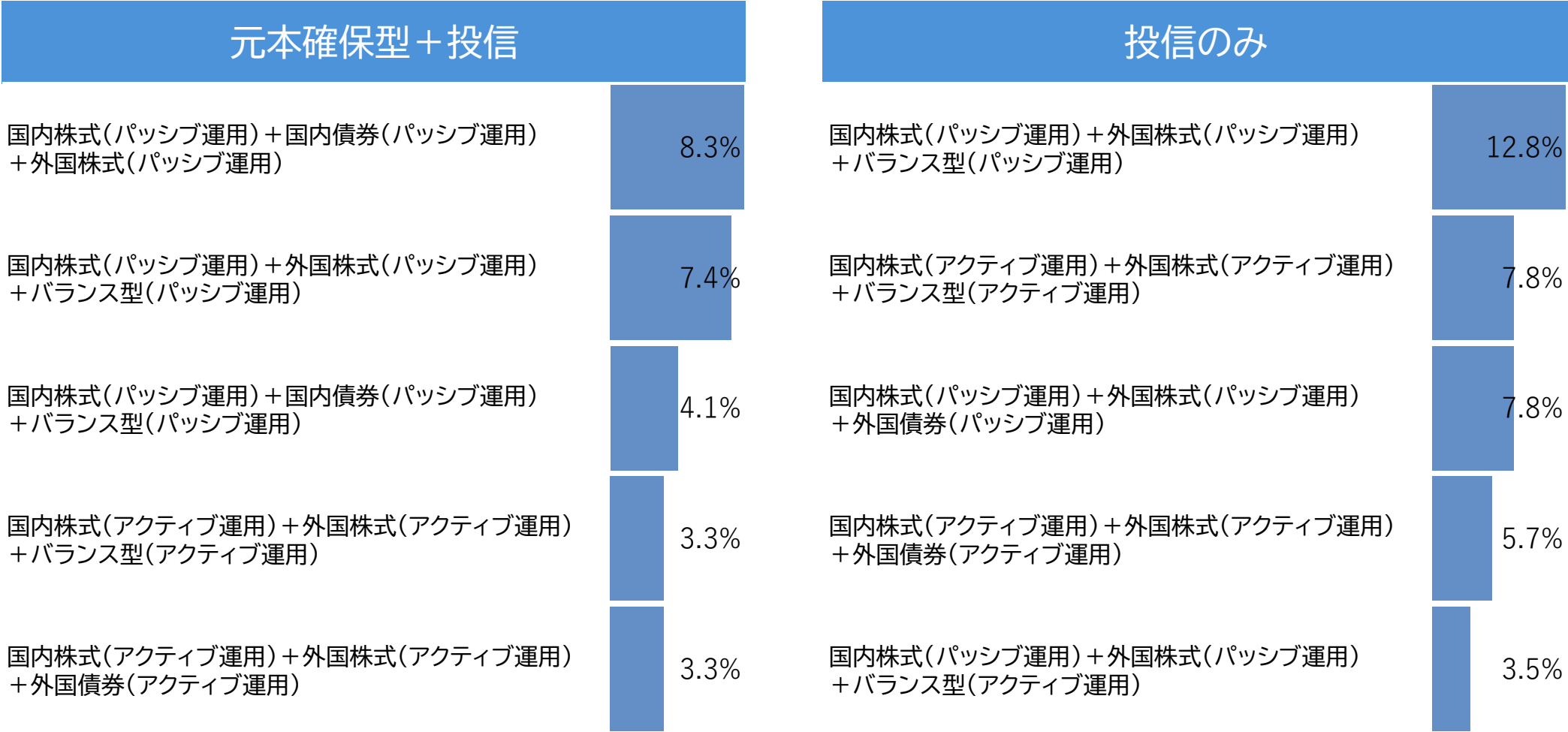
分散投資の状況：投信を2種類選択している人の組み合わせ上位5組

「元本確保型＋投信で運用」「投信のみで運用」とも、国内株式パッシブと外国株式パッシブの組み合わせが最多。次いで、国内株式アクティブと外国株式アクティブ。一方で、国内株式、外国株式、バランス型につきパッシブとアクティブの両方を選択している人も見られる(重複投資の懸念)。



分散投資の状況：投信を3種類選択している人の組み合わせ上位5組

バランス型とその他の資産クラスを組み合わせる人が目立ち始める(重複投資の懸念)。組み合わせはすべてパッシブ、あるいはすべてアクティブというパターンが多くみられる。



分散投資の状況：投信を4種類選択している人の組み合わせ上位5組

主要4資産に分散している人が多い。「元本確保型＋投信で運用」「投信のみで運用」ともに4資産すべてパッシブの組み合わせが最多で、次いで内外株式のパッシブとアクティブを組み合わせるパターンが続く。

元本確保型＋投信	
国内株式(パッシブ運用)＋国内債券(パッシブ運用) ＋外国株式(パッシブ運用)＋外国債券(パッシブ運用)	20.5%
国内株式(パッシブ運用)＋国内株式(アクティブ運用) ＋外国株式(パッシブ運用)＋外国株式(アクティブ運用)	6.8%
国内株式(アクティブ運用)＋国内債券(アクティブ運用) ＋外国株式(アクティブ運用)＋外国債券(アクティブ運用)	3.4%
国内株式(パッシブ運用)＋国内債券(パッシブ運用) ＋外国株式(パッシブ運用)＋バランス型(パッシブ運用)	3.4%
国内株式(アクティブ運用)＋外国株式(アクティブ運用) ＋国内不動産(REIT)(アクティブ運用) ＋バランス型(アクティブ運用)	2.6%

投信のみ	
国内株式(パッシブ運用)＋国内債券(パッシブ運用) ＋外国株式(パッシブ運用)＋外国債券(パッシブ運用)	20.0%
国内株式(パッシブ運用)＋国内株式(アクティブ運用) ＋外国株式(パッシブ運用)＋外国株式(アクティブ運用)	11.7%
国内株式(アクティブ運用)＋国内債券(アクティブ運用) ＋外国株式(アクティブ運用)＋外国債券(アクティブ運用)	10.0%
国内株式(パッシブ運用)＋外国株式(パッシブ運用) ＋外国債券(パッシブ運用)＋バランス型(パッシブ運用)	5.0%
国内株式(アクティブ運用)＋国内債券(アクティブ運用) ＋外国株式(アクティブ運用)＋外国債券(パッシブ運用)	2.5%

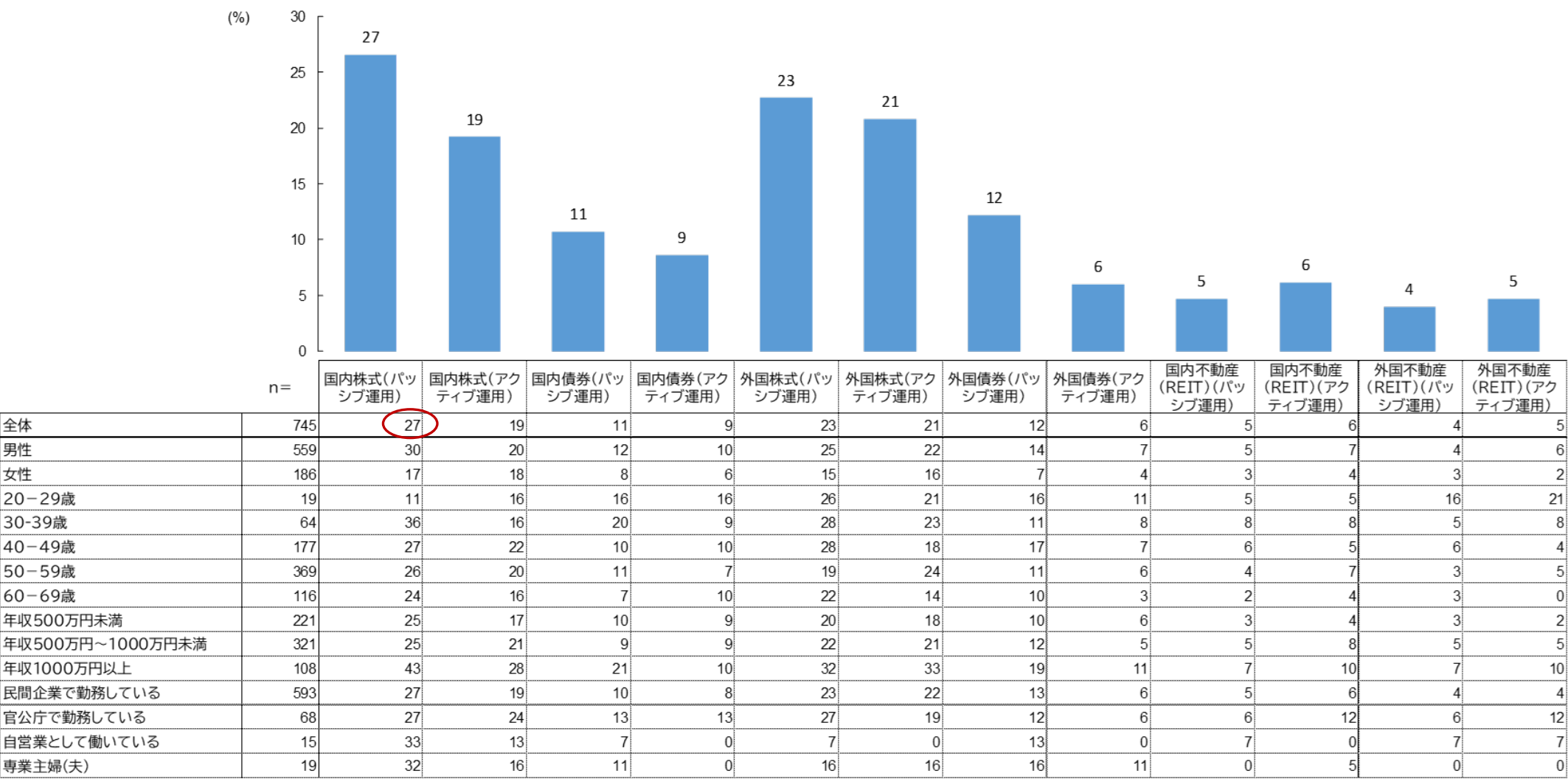
分散投資の状況：投信を5種類選択している人の組み合わせ上位5組

バランス型+主要4資産が多い(重複投資)。「投信のみで運用」ではREITが投資先として登場し始める。

元本確保型 + 投信	投信のみ
国内株式(パッシブ運用) + 国内債券(パッシブ運用) + 外国株式(パッシブ運用) + 外国債券(パッシブ運用) + バランス型(パッシブ運用)	国内株式(パッシブ運用) + 国内債券(パッシブ運用) + 外国株式(パッシブ運用) + 外国債券(パッシブ運用) + バランス型(パッシブ運用)
国内株式(パッシブ運用) + 国内株式(アクティブ運用) + 外国株式(パッシブ運用) + 外国株式(アクティブ運用) + 外国債券(パッシブ運用)	国内株式(パッシブ運用) + 外国株式(パッシブ運用) + 外国債券(パッシブ運用) + 国内不動産(REIT)(パッシブ運用) + 外国不動産(REIT)(パッシブ運用)
国内株式(アクティブ運用) + 国内債券(アクティブ運用) + 外国株式(アクティブ運用) + 外国債券(アクティブ運用) + バランス型(アクティブ運用)	国内株式(パッシブ運用) + 国内債券(パッシブ運用) + 外国株式(パッシブ運用) + 外国債券(パッシブ運用) + 外国不動産(REIT)(パッシブ運用)
国内株式(アクティブ運用) + 国内債券(パッシブ運用) + 外国株式(アクティブ運用) + 外国債券(パッシブ運用) + バランス型(アクティブ運用)	国内株式(アクティブ運用) + 国内債券(アクティブ運用) + 外国株式(アクティブ運用) + 外国債券(アクティブ運用) + バランス型(アクティブ運用)
国内株式(アクティブ運用) + 国内債券(パッシブ運用) + 外国株式(アクティブ運用) + 外国債券(パッシブ運用) + バランス型(パッシブ運用)	国内株式(アクティブ運用) + 外国株式(アクティブ運用) + 国内不動産(REIT)(アクティブ運用) + 外国不動産(REIT)(アクティブ運用) + バランス型(アクティブ運用)

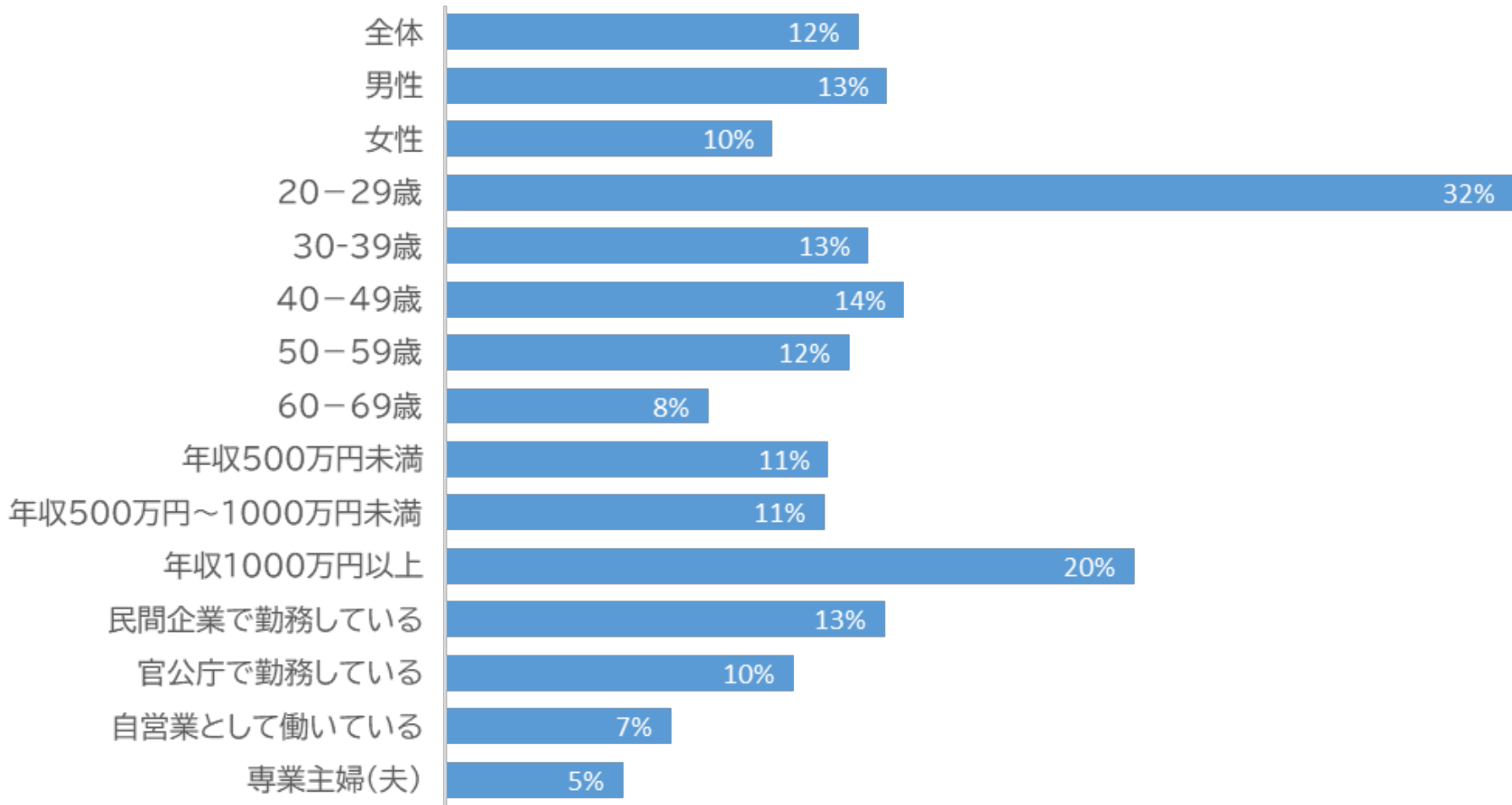
バランス型（パッシブ/アクティブ）・TDFで運用しながら、他の投信も選んでいる人

バランス型ないしTDFで運用しているにもかかわらず、他の投信を選んでいる人が多く存在。バランス型ないしTDFで運用している人はトータルで745人いるが、そのうち、たとえば同時に国内株式パッシブでも運用している人が27%いる。



バランス型のパッシブとアクティブ、ないしTDFを同時に選んでいる人

バランス型/TDFで運用する人のうち、バランス型のパッシブとアクティブを同時に選んでいる、ないしはバランス型とTDFを同時に選んでいる人が全体で12%存在。



n=	バランス型/TDF投資者	うち重複投資者
全体	745	91
男性	559	73
女性	186	18
20-29歳	19	6
30-39歳	64	8
40-49歳	177	24
50-59歳	369	44
60-69歳	116	9
年収500万円未満	221	25
年収500万円～1000万円未満	321	36
年収1000万円以上	108	22
民間企業	593	77
公務員	68	7
自営業等	15	1
専業主婦(夫)等	19	1

元本確保型商品のみを選択している人 についての追加分析

元本確保型商品のみを選択している人の理由別の「DCの運用はうまくいっていると思うか」

本体資料では、元本確保型商品のみを選択している人にその理由を聞いているが(34頁)、その理由別に「DCの運用はうまくいっていると思うか」を分析した。「資産を増やす必要がないから」元本確保型商品のみを選択している人は、確信的に選択している人たちだが、「運用が好調」(青色系)が6割近くいる一方、「運用が不調」もしくは「わからない」は極めて少ない。それ以外の理由でも、運用が好調は2, 3割いるが、元本割れしていないことをもって「好調」と回答している可能性もある。

■大変うまくいっている ■まあまあうまくいっている ■普通 ■あまりうまくいっていない ■全くうまくいっていない ■わからない

